



大学教育再生加速プログラム

平成 26 年度文部科学省
大学教育再生加速プログラム採択
テーマ I (アクティブ・ラーニング)

平成 27 年度
徳島大学 大学教育再生加速プログラム
事業実施報告書

学生と教員が共に成長する
「SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～」



徳島大学
Tokushima University

はじめに

「学生と教員が共に成長する『SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～』」の取組は、平成 26 年（2015 年）に、文部科学省大学教育再生加速プログラム（AP）のテーマ I 「アクティブ・ラーニング」に採択されました。平成 26 年度を実施準備の期間とし、平成 27 年度から「SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～」を開講し、学部 1 年生全員の 1324 名が受講しています。本報告書は、徳島大学大学教育再生加速プログラム事業の全容を記したものです。

「SIH 道場」は、「鉄は熱いうちに打て（Strike while the Iron is Hot）」の頭文字をとって名づけました。入学直後の学生の意欲は高くても、次第にモチベーションが下がってしまいます。そこで、「鉄は熱いうちに打て」の精神に則り、学生が入学した直後に高校から大学への学びの転換を促し、学生の学修意欲の向上を目指します。学生は、SIH 道場を通して、①専門分野の早期体験、②ラーニングスキル（文章力・プレゼンテーション力・協働力）の修得、③学修の振り返りを行います。しかし、SIH 道場で学ぶのは学生だけではありません。教員も SIH 道場の担当を通して、①アクティブ・ラーニングの実質化、②反転授業、ルーブリックによる評価法の修得、③教育経験の省察を行います。平成 27 年度以降の学部新入生は必ず SIH 道場を受講し、教員は、今年度担当した教員とは別の教員が来年度の SIH 道場を担当します。このように、SIH 道場を契機として、学生と教員がアクティブ・ラーニングを共に学び、学士課程全体に波及することで本学の教育文化を変えていきたいと考えています。

平成 27 年度の SIH 道場の実施後には、学生と教員を対象にアンケートを実施しました。その結果、SIH 道場プログラムの満足度について、学生の 83%が肯定的な評価をしている一方、教員については肯定的な評価をしているものが 49%という数字になっています。授業を受講する学生と担当する教員にこれだけの意識の差があるのは驚きですが、翻ってみると、授業を担当する先生にとって準備の負担の重いプログラムであると言えます。SIH 道場を学部・学科単位で実施するにあたっては、それぞれの授業設計コーディネーターの先生がプログラム設計・運営の中心的な担い手となりました。そのご苦勞が、準備されたプログラムを 8 割の学生が肯定的に評価したという結果につながっているのだと思います。

しかし、教育改革は教員だけの努力では実現できず、大学教育のステークホルダーたる学生にその意見を聴くことによってこそ実現することができます。そのため、「SIH 道場評価・改善ワーキンググループ」を設置し、SIH 道場を受講した学生の意見が次年度の SIH 道場に反映される体制を構築しています。今後も、学生の意見を取り入れながら SIH 道場を含む事業全体の改善を図り AP 事業を推進して参りますので、引き続きご支援の程よろしく願いいたします。

平成 28 年 3 月

徳島大学大学教育再生加速プログラム実施専門委員会委員長
徳島大学理事（教育担当）副学長

高石 喜久

目 次

はじめに

目 次

I. 徳島大学大学教育再生加速プログラム事業の概要

徳島大学大学教育再生加速プログラム（AP）事業の概要	1
----------------------------	---

II. 平成 27 年度「SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～」の取組

1. 平成 27 年度「SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～」の実施	11
資料①：平成 27 年度 SIH 道場必須項目設計表（概要のみ）	14
資料②：平成 27 年度 SIH 道場授業詳細	31
2. 平成 27 年度 SIH 道場振り返りシンポジウム実施報告	91
資料①：平成 27 年度 SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～総括	99
資料②：総合科学部 SIH 道場報告	103
資料③：蔵本地区 1 年生合同ワークショップ「チーム医療入門」	108
3. 平成 27 年度 SIH 道場の成果と課題	113
3-1. 学生・教員対象 SIH 道場アンケート結果	113
3-2. 教育について考え提案する学生・教職員専門委員会 SIH 道場評価・改善ワーキンググループの活動	128
3-3. 「SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～」の取組と課題 －大学教育再生加速プログラム（AP）実施専門委員会委員による報告－	132
4. SIH 道場の実施支援に関する取組	143
4-1. SIH 道場の授業設計および実施に係る支援	143
4-2. e ポートフォリオシステムの構築	148

III. アクティブ・ラーニングの普及

1. 専門教育における実践事例の共有	157
1-1. AP シンポジウム（アクティブ・ラーニング）	157
1-2. AP シンポジウム（反転授業）	161
2. アクティブ・ラーニング調査報告	162
2-1. アクティブ・ラーニング学内調査	162
2-2. アクティブ・ラーニング学外調査	164
3. FD プログラムの開発	166

IV. 平成 27 年度事業に対する自己評価

1. 平成 27 年度大学教育再生加速プログラム事業に対する自己評価	169
2. 平成 27 年度徳島大学大学教育再生加速プログラム事業自己評価結果一覧表	181

I. 徳島大学大学教育再生加速プログラム 事業の概要

徳島大学大学教育再生加速プログラム（AP）事業の概要

1) 事業内容

平成26年度「大学教育再生加速プログラム」に採択された本学の取組は、「鉄は熱いうちに打て」（SIH: Strike while the Iron is Hot）の精神に則り、反転授業、グループワーク、学修ポートフォリオ、専門領域早期体験等によるリフレクションを基盤としたアクティブ・ラーニングの体験を通して、学生と教員が共に学び合い成長する科目である「SIH 道場～アクティブ・ラーニング入門～」を、初年次に導入する。本科目では、学生は将来を見据えて学習意欲を向上させながら、能動的学修の実践に必要な「文章力」、「プレゼンテーション力」、「協働力」等のラーニングスキルを体得し、教員は現場実践型職能開発によりティーチングスキルを向上させる。さらに、学年進行に伴い、アクティブ・ラーニングの実質化を学士課程全般に浸透させていく。これらによって、高度専門職業人として必要な汎用的技能を備え、本学の教育理念である進取の気風を体現できる人材の育成を推進する。



2) 組織体制 (平成 27 年度 4 月～平成 28 年 3 月)

事業推進代表者	学長	香川 征
事業推進責任者	理事 (教育担当)	高石 喜久
事務担当者	主担当 学務部教育支援課教育企画室長	小山 順子
事務担当者	副担当 学務部教育支援課教育企画室教育企画係長	金治志津子

<徳島大学大学教育再生加速プログラム実施専門委員会>

委員長	副学長 (教育担当)	高石 喜久
副委員長	全学共通教育センター センター長	荒木 秀夫
副委員長	総合教育センター 教育改革推進部門 部門長	赤池 雅史
	総合科学部 教授	井戸 慶治
	医学部 教授	勢井 宏義
	歯学部 教授	日野出大輔
	薬学部 教授	難波 康祐
	工学部 教授	岡田 達也 (平成 27 年 9 月迄)
	工学部 教授	右手 浩一 (平成 27 年 10 月～)
	全学共通教育センター 教授	齊藤 隆仁
	総合教育センター 教育改革推進部門 教授	川野 卓二
	総合教育センター 教育改革推進部門 講師	吉田 博
	総合教育センター ICT 活用教育部門 教授	金西 計英
	学務部 部長	川野 晋資
	学務部教育支援課 課長	三好 信幸
	学務部教育支援課 室長	小山 順子
	医学部 教授	高橋 章
	医学部 教授	香川 典子
	総合教育センター 教育改革推進部門 特任助教	久保田祐歌
	総合科学部改組準備委員会 教授	豊田 哲也 (平成 27 年 10 月～)
	理工学部 (仮称) 設置準備委員会 教授	右手 浩一 (平成 27 年 10 月～)
	生物資源産業学部 (仮称) 設置準備委員会 教授	宇都 義浩 (平成 27 年 10 月～)
	教養教育院 (仮称) 設置準備委員会 准教授	古屋 玲 (平成 27 年 10 月～)
	図書館企画課 課長	松本 秀毅 (平成 28 年 1 月～)

<SIH 道場授業設計コーディネーター (平成 27 年度授業設計担当)>

総合科学部	人間文化学科 教授	井戸 慶治
総合科学部	社会創生学科 教授	饗場 和彦 (平成 27 年 3 月迄)
総合科学部	社会創生学科 教授	豊田 哲也 (平成 27 年 4 月～)
総合科学部	総合理数学科 教授	片山 真一 (平成 27 年 3 月迄)

総合科学部	総合理数学科 教授	小野 公輔 (平成 27 年 4 月～)
医学部	教育支援センター 准教授	三笠 洋明
医学部	医科栄養学科 教授	高橋 章
医学部	保健学科看護学専攻 教授	田村 綾子
医学部	保健学科放射線技術科学専攻 教授	吉永 哲哉
医学部	保健学科検査技術科学専攻 教授	香川 典子
医療教育開発センター	副センター長 (教授)	岩田 貴
歯学部	歯学科 教授	吉本 勝彦
歯学部	口腔保健学科 教授	日野出大輔
薬学部	教授	難波 康祐
工学部	建設工学科 教授	渦岡 良介
工学部	機械工学科 准教授	米倉 大介
工学部	化学応用工学科 教授	右手 浩一
工学部	生物工学科 教授	宇都 義浩
工学部	電気電子工学科 准教授	西野 克志
工学部	知能情報工学科 教授	獅々堀正幹
工学部	知能情報工学科 教授	光原 弘幸 (平成 27 年 4 月～)
工学部	光応用工学科 講師	手塚 美彦

<SIH 道場授業設計コーディネーター (平成 28 年度授業設計担当) >

総合科学部改組準備委員会	教授	豊田 哲也
医学部	医学科 教授	西村 明儒
医学部	医科栄養学科 教授	竹谷 豊
医学部	保健学科看護学専攻 教授	安井 敏之
医学部	保健学科放射線技術科学専攻 教授	森田 明典
医学部	保健学科検査技術科学専攻 教授	細井 英司
医療教育開発センター	准教授	吾妻 雅彦
歯学部	歯学科 教授	馬場 麻人
薬学部	教授	佐野 茂樹
理工学部 (仮称)	設置準備委員会 社会基盤デザインコース 准教授	渡邊 健
理工学部 (仮称)	設置準備委員会 機械科学コース 教授	高岩 昌弘
理工学部 (仮称)	設置準備委員会 応用化学システムコース 教授	外輪健一郎
理工学部 (仮称)	設置準備委員会 電気電子システムコース 講師	榎本 崇宏
理工学部 (仮称)	設置準備委員会 情報光システムコース 准教授	泓田 正雄
理工学部 (仮称)	設置準備委員会 応用理数コース 教授	三好 徳和
理工学部 (仮称)	設置準備委員会 応用理数コース 准教授	大沼 正樹
生物資源産業学部 (仮称)	設置準備委員会 教授	松木 均

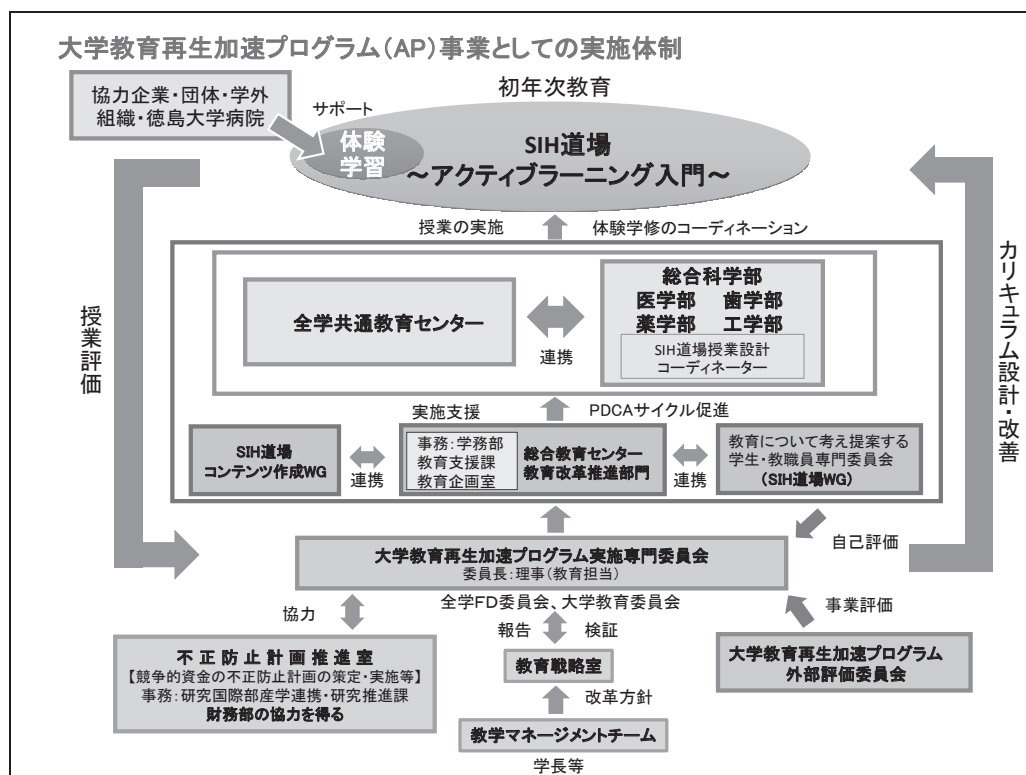
<SIH 道場コンテンツ作成ワーキンググループ>

総合教育センター 教育改革推進部門 教授	川野 卓二
総合教育センター 教育改革推進部門 准教授	宮田 政徳
総合教育センター 教育改革推進部門 講師	吉田 博
総合教育センター 教育改革推進部門 助教	川瀬 和也
総合教育センター 教育改革推進部門 特任助教	久保田祐歌
総合教育センター ICT 活用教育部門 教授	金西 計英
総合科学部 教授	井戸 慶治
全学共通教育センター 教授	齊藤 隆仁

3) 実施体制

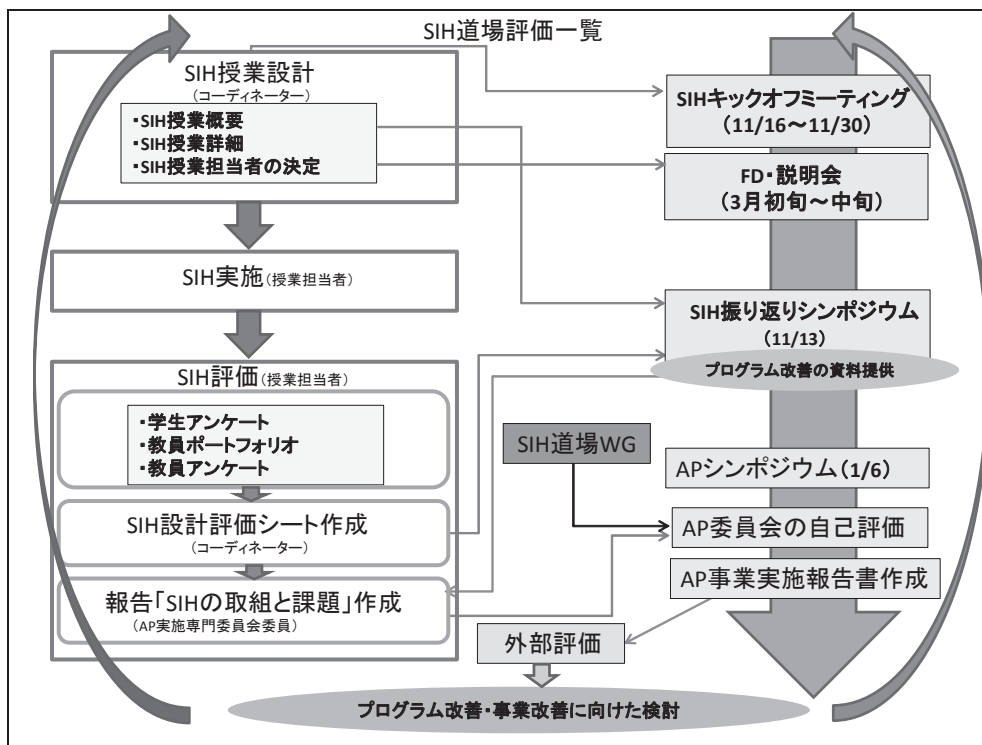
3.1) 実施

大学教育委員会に理事（教育担当）を委員長とする「大学教育再生加速プログラム実施専門委員会」を設置し、SIH 道場の実施に関する全体統括、授業設計コーディネーター等の人材の選出・割り当て等を行っている。総合教育センター教育改革推進部門では、授業設計、授業担当者の支援としてFDや個別相談を行っている。コンテンツ作成ワーキンググループでは、SIH 道場で学生が使用する教材等の授業担当者を支援するためのコンテンツ、授業のひな形等を作成している。



3.2) 評価

本取組の妥当性及び信頼性を検証するために、医療系、工学系、総合科学系領域の学識経験者各1名、卒業後の主な進路である医療機関、教育・研究機関、企業の関係者各1名、教育学専門家1名の合計7名で構成する外部評価委員会を設置し、本取組の進捗状況と成果について評価を行っている。また、学生の声を教育改革に取り入れるため、学生と教職員が教育の現状・課題について意見交換を行い、具体的な提案等を行う組織として、総合教育センターに「教育について考え提案する学生・教職員専門委員会」を設置し、その下に「SIH 道場評価・改善ワーキンググループ」を設けている。



4) 年次計画

SIH 道場は、本学の1年次全員が前期に受講する初年次教育プログラムである。その準備として、前年度の10月より授業設計コーディネーターの選出が始まり、プログラムごとに授業設計が開始される。また、授業終了後にはプログラムごとに振り返りを行い、評価や次年度に向けた改善計画を作成し、11月に実施する「SIH 道場振り返りシンポジウム」で、学内全体の総括を行う。主な年次スケジュールは以下の図の通りである。

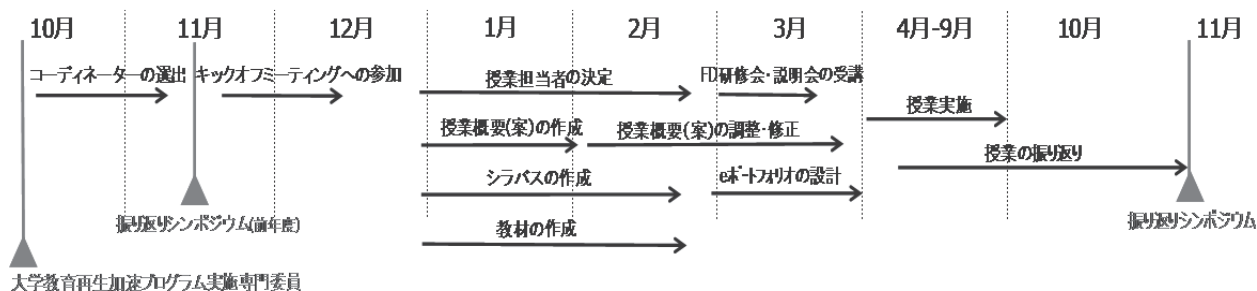


図 SIH 道場 1年間の実施スケジュール

5) 活動内容

実施日（期間）	実施内容	対象
平成27年11月7日、17日	平成27年度SIH道場キックオフミーティング (蔵本キャンパス1回、常三島キャンパス1回)	平成27年度授業設計コーディネーター
平成27年3月3日、4日、10日、11日、16日、19日	平成27年度SIH道場FD・説明会 (蔵本キャンパス3回、常三島キャンパス3回)	授業設計コーディネーター・授業担当者
平成27年4月～10月上旬	SIH道場学生対象アンケートの実施	SIH道場受講学生
平成27年5月13日	第3回AP実施専門委員会	AP実施専門委員会委員
平成27年9月末～10月上旬	SIH道場教員対象アンケートの実施	SIH道場担当教員
平成27年10月19日	第4回AP実施専門委員会	AP実施専門委員会委員
平成27年10月～11月	SIH道場評価・改善ワーキンググループインタビュー調査	評価・改善ワーキンググループ学生委員19名
平成27年11月13日	平成27年度SIH道場振り返りシンポジウム	学内教職員
平成27年12月2日、9日、15日	平成28年度SIH道場キックオフミーティング (蔵本キャンパス1回、常三島キャンパス2回)	平成28年度授業設計コーディネーター
平成28年1月6日	APシンポジウム (「アクティブ・ラーニング」「反転授業」)	学内外教職員
平成28年1月8日	第5回AP実施専門委員会（メール会議）	AP実施専門委員会委員
平成28年2月22日	第6回AP実施専門委員会	AP実施専門委員会委員
平成28年3月1日、2日、7日、8日	平成28年度SIH道場FD・説明会 (蔵本キャンパス2回、常三島キャンパス2回)	平成28年度授業設計コーディネーター・授業担当者
平成28年3月29日	徳島大学AP外部評価委員会	AP実施専門委員会委員等

6) 情報発信

6.1) 大学ウェブページ

学内外への情報発信のために、徳島大学ウェブページに、大学教育再生加速プログラムの取組みを掲載するページを新たに設け、随時取組の情報提供を行っている

(URL : <http://www.tokushima-u.ac.jp/campus/education/>)。

掲載内容は、大学教育再生加速プログラム事業の取組概要、SIH道場の概要、年度計画の他、「SIH道場～アクティブ・ラーニング入門～」のテキスト(PDF)、関連図書やアクティブ・ラーニングスペース教室の案内を行っている。今後は、さらに内容を充実させていく予定である。

徳島大学 Tokushima University

サイト内検索 | 携帯 | English | 中文 | 한국어

トップ | 交通アクセス | キャンパスマップ | サイトマップ | お問い合わせ

大学紹介 | 学部・大学院・病院 | 附属施設・図書館 | 研究・産学連携 | 地域連携・国際交流 | 教育・学生生活 | 就職・進路 | 入試案内

入学希望の皆さまへ | 在学生・保護者の皆さまへ | 卒業生の皆さまへ | 企業・研究者の皆さまへ | 社会人・地域の皆さまへ | 学内教職員用

教育・学生生活

TOP > 教育・学生生活 > 教育活動

教育・学生生活

- 学年暦
- 諸手続きのご案内
- 授業料免除・奨学金等
- 福利厚生
- 困った時の相談窓口
- 課外活動
- 学生生活Q & A
- 学生生活実態調査
- 教育活動
 - > 教育システム（徳島大学の教育改革）
 - > 終了したプログラム
 - 修学インフォメーション

教育システム(徳島大学の教育改革)

大学教育再生加速プログラム(AP)

「学生と教員が共に成長する『SIH道場～アクティブ・ラーニング入門～』採択

平成26年度から、国として進めるべき大学教育改革を一層推進するため、教育再生実行会議等で示された新たな方向性に合致した先進的な取組を実施する大学を支援することを目的とした「大学教育再生加速プログラム（Acceleration Program for University Education Rebuilding：略称AP）」の公募が始まりました。

「テーマ1（アクティブ・ラーニング）」「テーマ2（学習成果の可視化）」「テーマ1と2の複合型」「テーマ3（入試改革）」「テーマ3（高大接続）」のうち、本学は「テーマ1（アクティブ・ラーニング）」に、「学生と教員が共に成長する『SIH道場～アクティブ・ラーニング入門～』」をテーマとして申請し、採択されました（テーマ1採択校は、94件申請中9件）。

「学生と教員が共に成長する『SIH道場～アクティブ・ラーニング入門～』」

参考（外部リンク）：

- 文部科学省 大学教育再生加速プログラム
- 文部科学省 平成26年度「大学教育再生加速プログラム」の選定状況について

平成27年度SIH道場～アクティブ・ラーニング入門～振り返りシンポジウムを開催（11月13日（金曜日））

シンポジウム：16時30分～18時30分（16時受付開始）（573KB）

情報交換会：19時～20時30分（148KB）

6.2) 学会・フォーラム等およびジャーナル

AP事業「SIH道場～アクティブ・ラーニング入門～」の取組について、学会およびフォーラム等において情報提供を行った。口頭発表については、ポスター発表を含め7件行い、取組に関連する報告がジャーナルに2件掲載された。

<学会・フォーラム等>

第63回中国・四国地区大学教育研究会：口頭発表

日時：平成27年6月14日（日）

場所：徳島大学 常三島キャンパス

発表者：久保田祐歌

題目：初年次教育「SIH道場～アクティブ・ラーニング入門～」の取組

主催：中国・四国地区大学教育研究会

SPODフォーラム2015：ポスター発表

日時：平成27年8月26日（水）

場所：愛媛大学城北キャンパス

発表者：久保田祐歌、吉田博

題目：「SIH道場～アクティブ・ラーニング入門」の取組

主催：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

平成 27 年度教育改革 ICT 戦略大会 : 講演

日時 : 平成 27 年 9 月 2 日 (水)

場所 : アルカディア市ヶ谷 (東京、私学会館)

講演者 : 川野卓二

題目 : 「ポートフォリオを活用したアクティブ・ラーニングスキルの浸透」

主催 : 公益社団法人 私立大学情報教育協会

第 6 回 Mahara オープンフォーラム in 千葉 (MOF2015) : パネルディスカッション

日時 : 平成 27 年 10 月 11 日 (日) 10:10~11:10

場所 : 放送大学 附属図書館 3 階 AV ホール

パネリスト : 緒方広明 (九州大学)、高橋暁子 (徳島大学) 進行 : 山川修 (福井県立大学)

題目 : パネルディスカッション「高等教育で全学的に Mahara を利用する意義と課題」

主催 : Mahara User Group Japan 運営委員会、MUG-Japan 運営委員長 : 森本康彦 (東京学芸大学)、MOF2015 運営委員長 : 秋光淳生 (放送大学)

平成 27 年度 FD 推進プログラム 大学教育カンファレンス in 徳島 : 口頭発表

日時 : 平成 28 年 1 月 6 日 (水)

場所 : 徳島大学 常三島キャンパス

発表者 : 吉田博、久保田祐歌

題目 : 「初年次教育でラーニングスキル、ティーチングスキルの向上を目指した組織的取り組み」

主催 : 徳島大学 FD 委員会、大学教育再生加速プログラム実施専門委員会、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

平成 27 年度 FD 推進プログラム 大学教育カンファレンス in 徳島 : 口頭発表

日時 : 平成 28 年 1 月 6 日 (水)

場所 : 徳島大学 常三島キャンパス

発表者 : 久保田祐歌、吉田博

題目 : 「学生アンケートに基づく初年次教育プログラムの現状と課題」

主催 : 徳島大学 FD 委員会、大学教育再生加速プログラム実施専門委員会、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

第 22 回 大学教育研究フォーラム : 個人研究発表

日時 : 平成 28 年 3 月 18 日 (金)

場所 : 京都大学 吉田キャンパス

発表者 : 久保田祐歌、吉田博

題目 : 「アクティブ・ラーニング型初年次教育プログラムの成果と課題—徳島大学「SIH 道場〜アクティブ・ラーニング入門〜」の取組—」

主催 : 京都大学高等教育研究開発推進センター

協賛 : 学校法人 河合塾教育研究開発本部、関西地区 FD 連絡協議会

<ジャーナル等>

タイトル：徳島大学総合教育センターによる教育改革と FD

執筆者：吉田博

雑誌名：大学教育学会誌 37(2) 187-188

発行日：平成 27 年 11 月

発行：一般社団法人 大学教育学会

タイトル：徳島大学の教学マネジメントと AP 採択事業「SIH 道場」による全学へのアクティブ・ラーニング展開の試み

執筆者：川野卓二、久保田祐歌

雑誌名：大学教育と情報 (3) 19-21

発行日：平成 27 年 12 月

発行：公益社団法人 私立大学情報教育協会

6.3) 訪問調査への対応

日時：平成 27 年 12 月 22 日（火） 9 時～

内容：全学的な e ポートフォリオ活用について

訪問者：佐藤真久（山梨大学大学教育センター副センター長・大学院総合教育研究部教授）、日永龍彦（山梨大学大学教育センター教授）、小俣昌樹（山梨大学大学院総合教育研究部准教授）、奥原利昌（山梨大学教育人間科学域支援課長補佐）

対応者：金西計英（総合教育センター ICT 活用教育部門教授）、高橋暁子（総合教育センター ICT 活用教育部門特任准教授）、吉田博（総合教育センター 教育改革推進部門講師）、久保田祐歌（総合教育センター 教育改革推進部門特任助教）

日時：平成 28 年 2 月 9 日（火） 13 時～

内容：全学的な e ポートフォリオ活用について

訪問者：古澤修一（広島大学生物圏科学研究科教授、e ラーニング推進会議議長）、隅谷孝洋（広島大学情報教育研究センター 准教授）、秋元志美（広島大学情報教育研究センター 教育研究推進員）

対応者：金西計英（総合教育センター ICT 活用教育部門教授）、高橋暁子（総合教育センター ICT 活用教育部門特任准教授）、吉田博（総合教育センター 教育改革推進部門講師）、久保田祐歌（総合教育センター 教育改革推進部門特任助教）

日時：平成 28 年 3 月 1 日（火） 10 時半～

内容：ポートフォリオを活用したアクティブ・ラーニングスキルの浸透について

訪問者：和田光徳（兵庫大学生涯福祉学部社会福祉学科教授）

対応者：川野卓二（総合教育センター 教育改革推進部門教授）、吉田博（総合教育センター 教育改革推進部門講師）、久保田祐歌（総合教育センター 教育改革推進部門特任助教）、上岡麻衣子（総合教育センター 教育改革推進部門特任研究員）

